

3 国有林野の林産物の供給

(1) 計画的な木材供給

東北森林管理局では、木材等の林産物について、公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を進めることを基本として、自然環境の保全等に十分に配慮しながら、持続的・計画的な供給に努めています。

平成19年度には、森林の整備のために行っている保育間伐等を大幅に増やし、平成18年度に比べ137%、169万m³の収穫量となりました。

また、多様な森林を有する国有林野の特性を活かし、民有林からの供給が期待しにくい大径材や、青森ヒバ、天然秋田杉など、国有林ならではの樹種の計画的な供給に努めています。

収穫の実施状況 (千m³)

区分	平成19年度	平成18年度
主伐 ^{注)}	416	444
間伐	1,277	789
合計	1,693	1,233

注：数量には官行造林地分は含まない。

効率的な間伐の推進

盛岡森林管理署では、健全な森林を育てるために不可欠な間伐を一層推進するため、列状間伐と高性能林業機械を組み合わせた低コストで高効率な作業システムを積極的に導入しています。

なお、搬出した間伐材の計画的な販売により、木材の安定供給にも寄与しています。



列状間伐を実施した森林



搬出された間伐材

場 所：岩手県岩手郡岩手町 金沢山国有林(盛岡森林管理署)

(2) 林産物等の販売

林産物の持続的かつ計画的な供給は、国有林の重要な役割の一つであり、東北森林管理局では、地域における木材の安定供給体制の整備等が促進されるよう、持続的かつ計画的な木材の供給に努めました。更に、民有林からの供給が期待しにくい樹材種（青森ヒバ、天然秋田杉など）についても計画的な供給に努めました。

平成19年度は、立木販売^{注1}については231千m³、素材（丸太）販売については385千m³と立木販売から素材販売^{注2}へシフトしました。

販売に当たっては、インターネット等を活用し、迅速かつ広範囲に公売情報を提供するなど樹材種の特質に応じた有利な販売や販路の拡大に努めるとともに、民間市場への素材販売^{注2}の委託を行い平成19年度の林産物等収入は約49億円になりました。

また、間伐の積極的な推進に伴い大量に発生する間伐材について、需要拡大を図るとともに安定的な販路を確保するため、合板工場、集成材工場等との間で丸太の計画的な供給に関する協定を締結して行う「システム販売」を平成18年度と同程度実施しました。

安定供給システム (千m³)

区分	平成19年度	平成18年度
素材	159	157

林産物等販売の状況

区 分	平成19年度		平成18年度	
	数量(千m ³)	金額(百万円)	数量(千m ³)	金額(百万円)
林産物等収入	616	4,945	679	4,752
立木販売	231	575	310	608
製品販売	385	4,077	369	3,962
その他		293		182

注：1 数量は、立木販売については、立木材積で、素材販売については素材（丸太）材積で示している。

2 「その他」は、林産物の雑収入、官行造林官収分収入、分収育林官収分収入等である。

下北地域材のブランド化を図るためのラベリング表示

下北森林管理署では、国有林内の特産樹種である下北地域産材の天然青森ヒバのブランド化を図り、全国的な需要拡大を目的として、ラベリングを表示しています。

ラベリングは、素材生産請負業者や販売委託先等の各機関の協力を得て、委託販売材に貼付しており、貼付するラベルには、「下北地域産天然青森ヒバ」を宣伝する他に「国有林材は持続可能な森林経営から生産された合法的な木材である」旨を記載して、国有林材のPRにも努めています。



ラベリングされたヒバ材



場 所：青森県青森市 市場（下北森林管理署）